

# クマ剥ぎ被害箇所での ヒノキアスナロの樹下植栽試験

キーワード：クマ剥ぎ被害、ヒノキアスナロ、樹下植栽、樹種転換、複層林施業

## 1 開発目的

スギ人工林のクマ剥ぎ被害が甚大な地域で、被害木の有効利用、公益的機能の維持と資源の循環利用が可能な森林施業の実施。

## 2 成果の概要

- ・ スギ、ヒノキアスナロ垂直異種2段林の造成。（図1）（写真1）
- ・ 一環作業システム、スギコンテナ苗による効率的な事業実施。
- ・ クマ剥ぎ被害防止対策の実施。（写真2）

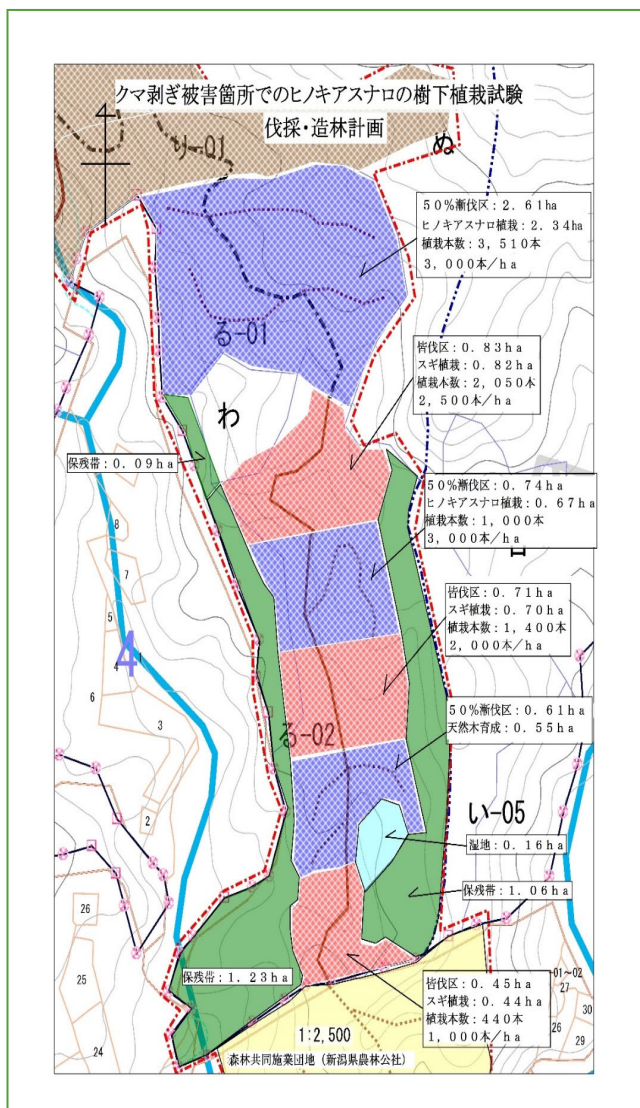


図1 スギ、ヒノキアスナロ2段林造成地見取図



### 3 成果の詳細

- 民国連携によるクマの皮剥被害に係る研修会を実施し、被害状況及び対策等についての情報共有が図られた。（写真3）
- 素材生産において、被害木等は木質バイオマス用として販売することができた。（写真4）
- 植栽したヒノキアスナロの苗は、苗の生産及び保育実績のある、佐渡アテビの会から調達し、今後の保育指導等もお願いすることとした。
- 択伐区域においては、全天空写真（写真5）による空隙率（樹幹粗密度）の解析（表1）により、伐採前の約20%～約50%程度に上昇しており、多様な試験プロットの確保が可能となった。



写真3 研修会



写真4 低質材の販売

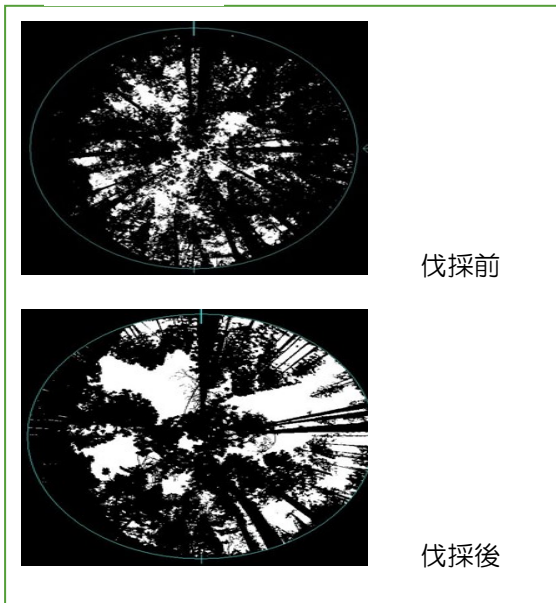


写真5 全天空写真

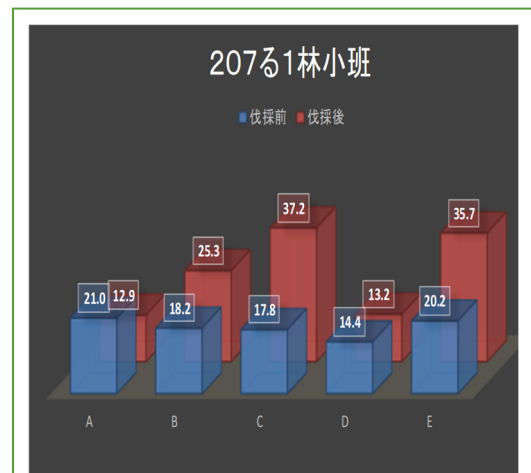


表1 空隙率の解析

### 4 技術開発担当機関及びお問合せ先等

- 担当機関：関東森林管理局 下越森林管理署
- 共同研究機関：新潟県森林研究所
- 実施箇所：古岐山国有林 207 る 1 林小班外（新潟県東蒲原郡阿賀町）
- 開発期間：平成 28 年度～平成 30 年度
- お問合せ先：関東森林管理局 下越森林管理署（0254-22-4146）

### 5 参考情報

[印刷版](#)